

平成 23 年 4 月 27 日

腸管出血性大腸菌（O111）感染症患者の発生について

1. 患者の状況

- ・患者 高岡厚生センター管内 男性（10歳未満）
- ・経緯 4月24日（日）嘔吐、下痢等の症状を呈し、医療機関を受診
深夜に血便を呈し、病院を受診後入院、検便実施
4月27日（水）高岡厚生センターにて腸管出血性大腸菌 O111（VT2）
を確認
腸管出血性大腸菌感染症と診断
- ・症状 現在、入院加療中

2. 患者及び感染源調査

- ・患者の喫食状況調査及び行動調査を実施
- ・患者家族等接触者の健康状況調査を実施

3. 対応

- ・患者自宅等の消毒を指示
- ・患者及び患者家族等に対し、衛生教育を実施

4. 予防対策の周知をお願いします

- ・食べ物は十分加熱しましょう
特に食肉については、生食を避け、中心部まで十分加熱するようにしましょう
- ・手洗い消毒を徹底しましょう（調理の際、食事の際、トイレの後など）
動物とふれあった後にも、必ず石けんを使用して十分に手洗いをしましょう
- ・下痢等の症状がある場合は、速やかに医師の診察を受けましょう

5. 参考

	（平成 23 年）	（平成 22 年：同時期）
（1）O157	3名	3名
（2）O26	1名	0名
（3）O111	1名（本事例を含む）	0名
（4）その他の血清型	0名	0名

【報道機関各位へお願い】

報道に際しては、患者様御本人及び御家族のプライバシーに十分な御配慮をお願い致します。